

令和5年度 春日大野城リサイクルプラザ・浄化センター環境監視委員会  
定例会 議事録

1. 日 時：令和5年7月4日（火） 9:55～10:25
2. 場 所：春日大野城リサイクルプラザ事務棟2階 会議室
3. 出席者：  
〈環境監視委員〉  
西山優、平山和子、井上千草、高松勝彦、金澤美代子  
〈大野城市〉  
團野環境経済部長、権藤循環型社会推進課長  
中隈生活環境・最終処分場担当係長、児玉  
〈春日大野城衛生施設組合〉  
榎木事務局長、西尾係長、富浦主任主事、竹内主任主事
4. 傍聴者 1名
5. 主な意見

◆意見①

- (委員) 昨年の監視委員会で、毎月第3日曜日は、プラザへごみを持ち込む割合が多いということであった。その後の対応については、どういった状況であるか。
- (組合) 対策として、市民の方々には毎月第3日曜日ではなく、平日の搬入に協力していただくよう電話で問い合わせがあった際は周知をしているところだ。しかしながら、月に一度の日曜日搬入であることから、利用者が多い。なお、プラザへの搬入量は、コロナ禍前よりも減少している状況ではあるが、第3日曜日の自己搬入については、今後も引き続き注視し対応を検討していきたい。

◆意見②

- (委員) 現在、地震が頻発している。最終処分場の遮水シートの検査を毎月実施されていると聞いたが、建設当初から何十年も経過している。シートを取り替えられたことはあるのか。
- (組合) 遮水シートの取り替えを行うことはできない。なお、昨年遮水シートについて検査を行った。今のところ問題はなく、漏れは生じていないという調査結果であったが、組合としても異常等がないか検査をして、委員の皆様にご報告をさせていただきたい。

◆意見③

- (委員) プラザ前の道路脇の歩道に草が生えている。プラザはごみを回収する施設であるので、施設の見た目を大切にしたいほうが良い。近隣周辺の方々にとって、プラザ周辺は自然に目に入るので、きれいにしていきたい。
- (組合) 状況をみながら、草が伸びている部分については対応していきたい。

## 6. 会議内容

### 1) 部長あいさつ

### 2) 議事

西山会長： 議題に沿って、進めていく。まず始めに令和5年度事業計画について事務局より説明をお願いします。

中隈係長： では、今年度の事業計画について説明する。配布した事業計画（案）を見てもらいたい。環境監視委員会の事業計画としては、今回の定例会において、令和5年度の管理運営状況の報告及び池の頭池・地下水水質調査結果報告並びに最終処分場関連水質調査結果報告の内容についての審議をお願いすることになっている。

また、必要に応じて、臨時会を行う予定にしている。以上で、事業計画の説明を終わる。

西山会長： 以上の説明について質問等はないか。

（質問等なし。計画案承認）

西山会長： ないようであれば、次に議題(2)春日大野城リサイクルプラザ・浄化センターの管理状況について事務局から説明をお願いします。

榎木局長： まず説明の前に、監視委員会の皆様をはじめ上大利区の皆様方には、日頃から、当施設の運営にご理解とご協力をいただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

それでは、議題(2)春日大野城リサイクルプラザ・浄化センター管理状況について説明する。

まずは、1ページと目次をお願いします。タイトルが「搬入量及び処理量の推移」となっている。これは、プラザに搬入された燃えないごみ・資源ごみの搬入量と処理量の推移を示している。令和4年度の搬入量については、上段の表の一番右に示すとおり、両市合わせた合計は、4,427.62トンということで、前年度と比較して約280トン、約6%減少している。これは、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症による外出自粛など在宅が増えたことで、プラザへのごみの持ち込みが増えていたが、概ね落ち着いたようで、コロナ禍前の令和元年度並みの搬入量となった。

そして、下段の表は、受け入れたごみの処理量となる。令和4年度の処理量については、表の一番下の右側に記載のとおり4,375.64トンであり、搬入量同様に減少し、前年度と比較すると約310トン減少している。

処理量のうち、アルミや鉄などの資源化物として処理したものは、下から6行目に記載のとおり、2709.19トンで、処理量全体の61.91%の割合となっている。

一方、資源化物以外のものは、下段に記載のとおりである。下から2行目の残渣（埋立処分）は、リサイクルできなかったガラスや陶器を綺麗に洗浄して、細かく粉砕し、最終処分場に埋め立て処分を行ったものである。

次の2ページをお願いします。「令和4年度搬入量（月別・搬入区分別）及び処理量（月別・搬入区分別）」である。これは、月ごとの搬入と処理の状況を示している。

上段の表は、春日市と大野城市（両市）の搬入量を記載している。搬入量が一番多い月は、引っ越し時期やゴールデンウィークの4月、5月や年末を迎える12月である。

中段の表は、両市の収集業者が収集運搬してきた粗大ごみ、資源ごみ、不燃

ごみ、乾電池・蛍光灯、ペットボトル・トレイ、そして、両市の市民などが直接持ち込んだごみの量の状況をまとめたものである。

最下段の表は、処理の内訳を月ごとに記載したものである。

3ページをお願いします。「搬入量の推移（平成12年～令和4年度）」である。これは、浄化センターでのし尿と浄化槽汚泥の搬入量の推移を示している。令和4年度においては、一番下、太枠で囲んでいる部分で、搬入量は、両市合わせて1,334キリットル、前年度から7.0%の減少となっている。し尿・浄化槽汚泥については、水洗化の普及により、年度で多少の増減はあるものの、確実に減少傾向にある。

4ページをお願いします。「令和4年度搬入量（月別・搬入業者別）」である。これは、し尿と浄化槽汚泥の月ごとの搬入状況を示している。上段の表は、両市の搬入量であり、両市ともに前年度より減少している。中段の表は、両市搬入業者の搬入量を表している。下段の表は、両市の搬入割合を示している。春日市が51.8%、大野城市は48.2%となっている。

5ページをお願いします。最終処分場に関する水質検査結果である。こちらは、二箇月ごとに実施している最終処分場における水質検査の結果を表している。検査は、カドミウムや鉛など5項目の調査を、A地点、B地点、C地点、および下水道の放流水と計4ヶ所で行っている。その4ヶ所の水質調査地点については、8ページの「採水箇所位置図」に記載している。

A地点は位置図の真ん中、黄色の字で示す位置になる。ここでは、最終処分場からの浸透水の検査を行っている。続いて、A地点の少し上にあるB地点は、最終処分場の下流の地下水の検査、位置図の右下にあるC地点は、最終処分場の上流の地下水の検査、最後に、位置図の真ん中左にある下水道放流水は、水処理施設から下水道へ放流する放流水の検査を行っている。

では再度5ページをご覧ください。水質検査結果について説明を行う。ここでは、令和4年3月から令和5年5月までのカドミウムなど調査5項目を示している。令和4年3月の検査結果で、「A地点の総水銀」を除いては、全て不検出となっている。

6ページをお願いします。こちらは、年2回、半年ごとに実施している【池の頭池】と【地下水】における水質の分析結果を記載している。まず、上段の表は、池の頭池2ヶ所での水質分析結果である。場所については、8ページの位置図をご覧ください。位置図に示すピンク色、池の頭池の入口と出口2ヶ所において検査を実施している。

再度6ページをご覧ください。上の表の「生活環境の保全に係る項目」については、水素イオン濃度以下、5項目全て水道水水質基準などの基準値内の結果となっている。下の表の「人の健康の保護に係る項目」については、カドミウムなどの調査5項目全てにおいて、「不検出」となっている。

下段には、地下水の水質分析結果を記載している。場所については、8ページの位置図をご覧ください。地下水の検査は、位置図の右側あたり、赤字で、No.1、No.2、No.3を記載した3ヶ所でそれぞれ実施をしている。

再度6ページをご覧ください。中段に「人の健康の保護に係る項目」の測定結果を示している。結果は、カドミウムなど調査5項目全てにおいて、水道水水質基準などの基準値内となっている。

また、左下に、地下水採取の井戸の状況を示したものを掲載している。井戸の深さはそれぞれ、No.1が30m、No.2が17m、No.3が50mとなっている。

7ページをお願いする。こちらは、年に1回実施している最終処分場におけるダイオキシン類の測定結果を示している。測定場所は、水質検査の調査箇所と同じく、A地点、B地点、C地点、および下水道の放流水と計4カ所で行っている。

令和4年7月実施した浸透水・放流水と地下水の検査結果については、すべて基準値内となっている。

以上で説明を終わらせていただく。

- 西山会長： 今のリサイクルプラザ・浄化センター管理状況について何か質問はないか。ないようであれば、最後に(3)その他に移る。何かあるか。
- 高松委員： 私からよいか。昨年の監視委員会で、毎月第3日曜日は、プラザへごみを持ち込む割合が多いということであった。その後の対応については、どういった状況であるか。
- 榎木局長： 近隣住民の方々には大変ご不便をおかけしている。対策として、市民の方々には毎月第3日曜日ではなく、平日の搬入に協力していただくよう電話で問い合わせがあった際は周知をしているところだ。しかしながら、月に一度の日曜日搬入であることから、利用者が多い。なお、プラザへの搬入量は、コロナ禍前よりも減少している状況ではあるが、第3日曜日の自己搬入については、今後も引き続き注視し対応を検討していきたい。
- 高松委員： 分かった。
- 平山委員： 1点よろしいか。現在、地震が頻発している。最終処分場の遮水シートの検査を毎月実施されていると聞いたが、建設当初から何十年も経過している。シートを取り替えられたことはあるのか。
- 西尾係長： 遮水シートの取り替えを行うことはできない。なお、昨年遮水シートについて検査を行った。今のところ問題はなく、漏れは生じていないという調査結果であった。
- 平山委員： 分かった。今後も引き続き、検査を行っていただきたいと考える。
- 榎木局長： 組合としても異常等がないか検査をして、委員の皆様にご報告をさせていただきたい。
- 平山委員： もう1点ある。プラザ前の道路脇の歩道に草が生えている。プラザはごみを回収する施設であるので、施設の見た目を大切にしたい。近隣周辺の方々にとって、プラザ周辺は自然に目に入るので、きれいにしていきたい。
- 榎木局長： 状況をみながら、草が伸びている部分については対応していきたい。
- 西山会長： 他に質問等はないか。ないようなので、以上をもって令和5年度春日大野城リサイクルプラザ・浄化センター環境監視委員会定例会を終了する。